

行政視察報告書

報告者 大津將嘉

【視察日】令和 7 年 10 月 31 日（金）

【視察先】福岡市役所（福岡県福岡市）

【視察項目】ふくレジについて

【視察内容】

近年、レジ袋の有料化を受けてマイバッグの普及が進む一方で、プラスチックごみの 1 つであるレジ袋が、未だに多量に捨てられていることが分かっています。そこで、お買い物シーンにおけるレジ袋削減のための新しい選択肢の一つとして、福岡市内で導入しているごみ出しに使えるレジ袋”ふくレジ”を視察することとした。

【所感】

私が 9 月議会で一般質問をした「レジ袋利用によるプラスチック袋削減」について非常に市民の皆さんから多くのお声を頂きましたので、現地視察を行いより具体的に知りたいたいと思い福岡視察を行う運びとなった。

実際に福岡市役所の職員さんに聞くと、好評な意見が多くネット上でも肯定的な意見が多数見られました。実際にホームページを見て店舗に行ったが売ってなかったという意見もありましたが、実際はレジ裏においていたりしたことが原因だったそうです。その他には、販売側の負担がすごく多い為、採用したくないという意見も多くあったという。その後、試行錯誤を重ね、まず 1 つめにコンビニやスーパーなどで販売エリアの影響を最小限にするために、穴をあけてフックで掛けるだけでスペースを取らないようにしておりました。チラシや広報活動にも力入れ、お店の店員さんが都度、説明を行わずに一目で注文できるような「販売の見える化」も行っておりました。

【視察項目】行政 DX 化について

【視察内容】

昨今の働き方改革により、行政の効率化を進める時代となっている。大分市政にも導入できる部分がないか知りたいため視察を行う運びとなった。

【所感】

行政全体的な DX 化について教えていただきました。「ワンストップ行政」から「ノンストップ行政」として、役所の窓口に行かなくても手続きが完結する仕組みを構築している。特にハンコレスの取組は非常に魅力的であり、行政と市民双方にメリットがある取組だと思いました。また、市の職員専用のデジタルツールや公式 line の市民の活用率の高さは非常に先駆的取組だと感じました。限られた予算の中で大分市政に導入できる仕組みを今後考えていきたいと思っています。